

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート

		部課名	教育委員会事務局学務課	
施設名称	15 東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31. 4. 1	～ R6. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] SRC・RC一部S造 5階建のうち1階 (延床面積1536.26㎡ 屋外遊戯場456㎡)
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ()
(5)	[開館日・時間] 月～土曜日 (祝祭日・年末年始を除く)、7:15～18:15 (延長保育は19:15まで)
(6)	[人員体制] 43名 (内 訳) 園長(1) 副園長(2) 保育者(常勤24※うち育休3休職1、非常勤5) 看護師(常勤1) 調理師・栄養士(常勤4、非常勤3) 事務(常勤1、非常勤1) 嘱託医(1) (前年増減) 副園長(+1) 保育者(常勤+1) 栄養士(常勤-1、非常勤+1) 事務(非常勤+1)

2. 予算決算		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	250,334,000	240,743,864	258,782,000	245,364,776
	利用料金収入	2,050,000	1,982,120	1,890,000	1,926,485
	その他収入(給食費)	4,500,000	3,910,500	3,780,000	3,861,000
	計	256,884,000	246,636,484	264,452,000	251,152,261
支出	人件費	186,800,000	183,065,196	186,968,500	169,952,301
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費(委託料・賃借料)	460,000	423,010	460,000	436,860
	修繕費	250,000	3,024	380,000	325,479
	事業費	12,770,000	14,346,944	18,730,000	19,598,514
	その他支出(事務費)	15,955,000	14,269,473	18,090,000	18,267,222
	計	216,235,000	212,107,647	224,628,500	208,580,376
収支			34,528,837		42,571,885

3. 活動指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
定員	人	161	161	161	161
年間保育日数	日	293	293	293	292

4. 成果指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
入所児童数(4月1日現在)	人	161	159	157	156

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

--	--	--	--	--	--

6. 評価の観点
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	災害等の発生に備え、避難経路等の自主点検を毎日実施し、地域及び隣接の中学校と合同避難訓練を実施するなど、施設の安全強化に努めた。事業計画書等の区との必要な手続きについて、一部書類の提出が遅れたため改善が必要である。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	園から保護者への情報伝達に一部課題があるものの、法人独自の取り組みを計画的に事業に取り入れ、また、外部研修への積極的な参加のほか、法人内研修の充実を図り職員育成に努めており、教育・保育の充実と質の向上に取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	定期的に施設及び備品等の点検を行い、修繕箇所等があった場合は、区と連携のうえ早急に対応している。事故を未然に防ぐためにも、危険箇所等の的確な把握に努めていく必要がある。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	毎年実施している保護者アンケート以外に、第三者評価を毎年受審し、利用者からの要望、評価者からの意見等を踏まえ、園の運営に反映している。しかしながら、保護者アンケートの回収率が低下していることから、更なる改善を図っていく必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	管理経費の効率的な執行及び公認会計士による定期的な確認により、収支管理は適切に行われている。

(6) 優れた取組み <<加点項目>> ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	園独自で預かり保育のシステムを構築し、従来紙で行っていた利用申請等の手続きについて、携帯端末等からの電子申込みが出来るようになった。保護者の負担軽減ならびに運営の効率化が図られており、利用者に対するサービスの向上に大いに寄与した。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (99 / 110点)	【所見】 保育環境の整備を重視し、教育・保育の充実と利用者の利便性が図られており、良好なサービスが提供されている。園の運営も安定していることから、全体として、適正な管理運営が行われている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・施設の危険箇所等を的確に把握し、事故を未然に防ぐための取り組みをより一層強化していく必要がある。 ・アンケートの実施時期や回収方法に工夫を凝らし、より多くの利用者の意見等を取り入れ、園の運営に反映させていく必要がある。
---------------------------	--	--